

# 古市パワーアップ通信

創刊号 二〇〇八年七月十五日  
編集・発行 古市パワーアップ事業実行委員会

## 補助金三十一万五千円の受給が決定

～事業展開に、ぜひご参加下さい～



すでに自治会の回覧等でご存知下さっている事と思いますが、地域の活性化を進めるための活動に対して、県の補助金の交付が行なわれる制度があります。古市自治会では「古市焼の再現に挑戦してみんなで街を元気にしよう」をテーマに交付申請をし、審査会での審査を経て、見出しの金額の交付が決まりました。

この事業のねらいは、古市自治会の人たちが、世代間を越えてお互いに交流を深めることはもちろん、地域外の人たちにも呼びかけて参加を求めたり、地藏盆や義士祭等の古市の伝統行事の際にとりくみの成果を展示したりすることによって、他地域の人々との交流もすすめることにあります。

どのようなことを進めるかについては、今から二百年程前に、古市の地で作られていた磁器(注1)で、原材料である陶石の枯渇等により廃れていった焼き物「古市焼」の再現にとりくむことを通じて、地域の皆さんの交流を図りたいと考えています。そのために、さし当たっては、王地山焼(注2)の半完成品の風鈴に絵付けをして焼き上げ、二十四日盆に展示することからとりくみます。続いて、本格的にそれぞれのアイデアを生かして器や皿、花瓶等の作品作りに挑戦する予定にしています。

その他、二十四日盆には、作品絵付けした風鈴の展示や、ライトアップ等も行なうて、一人でも多くの方たちの参加を求めると共に、古市を出て、他の地域に暮らす子や孫にも呼びかけて、可能な限り帰郷してもらええる様にすることも考えられています。

自治会の回覧や、続いて発行予定の本紙等で呼びかけますから、これらの事業展開の際には、ぜひご参加下さい。

(注1)立杭焼のように粘土を材料にした陶器でなく、石を粉にしたものを材料にした焼き物のこと。  
(注2)篠山の王地山タケで、近年再現された古市焼の流れを汲む焼き物のことで、今回の古市焼再現のとりにみには、この職人さんから指導や援助を頂くことにしています。

## 絵付け・成形に挑戦しましょう

古市焼再現への挑戦の手始めは、半製品の風鈴の絵付けから始めます。また、皿、花器、壺、灯り等の成形にも挑戦して頂きます。

ご高齢の方も、ちびっ子も、夏休み中の、小・中・高校生の皆さんも、普段お勤めの皆さんも土曜日ですからごぞつてご参加下さい。

期日は、七月二十六日(土)の午前九時三十分で、場所はふれあいセンターです。

これらの作業には、王地山焼の専門家から指導を受けることにしていますが、あらかじめ、各自で、絵柄や製作する器等の大体のイメージを作つてご参加下されば作業がスムーズに進められると思います。

持参品は、お家にある筆をご準備下さい。また、服装は汚れてもよい、作業服等の方が心置きなく作業に取り組めることと思います。なお、波賀野新田からも十七人程参加される予定です。



王地山焼の風鈴

## 二十四日盆に向けて

### 植物を軒先に飾りましょう

「華やぎの会」の皆さんの提唱で、八月二十四日の地藏盆には、花や緑の植物で、軒先を飾ろうということになりました。そのために、先般ユウガオ(標準和名はヨルガオ)やフウセンカズラの苗をお届けして栽培して頂いているお宅もありますが、順調に生育しているでしょうか。



フウセンカズラ

ユウガオは、夜目にも白く目立つ上に、香り高い花をつけますし、フウセンカズラは風船のような果実がゆらゆらゆれる風情が楽しめます。どちらも、一丈程の支柱に絡ませ、長く伸びた場合は芯を摘んでやれば、脇芽が伸びて茂ってくれます。その他の様な植物でも構いませんから、二十四日盆には軒先を植物で飾りませんか。

ユウガオの苗が、ご入用の方は吉竹迄お申し出下さい。まだ十株程度残っています。(先着順でお分けします)

## 古市焼復元への道のり「構想」

次に、実行委員会で現時点で考えている古市焼きの復元へのとりくみの過程をまとめておきます。

皆さんにお集まり頂いて、ワイワイガヤガヤ賑やかに作業して頂く期日等は、自治会から回覧等でお知らせします。ご都合がつく方は是非ご参加下さって、ふれあいを深めて下されれば幸いです。

時 期	7月26日	8月26日迄	8月中・下旬	8月下旬～9月
風 鈴 半製品（素焼き）からスタートします。	絵付け ・素焼きのためすぐに乾きますから、さっさと描くことが必要です	本焼き ・下の作品の乾燥を待って一緒にガス窯で本焼きをして頂きます。	完 成 ・風鈴は地蔵盆の際に街並みの軒下等に吊るし音色を楽しみます。	・機会あるごとに、軒先などに吊るして、音色を楽しむことにします。
器等の自由作品 陶土からスタートします。	成 形 ・あまり大きいものを作るうとすると成功率が下がります。	素焼き ・風鈴の本焼きと同時に、器等の作品を素焼きして頂きます。	絵付け ・完成した風鈴と共に素焼き作品を受け取り、絵付けを行います。	本焼き〔完成〕 ・作成した展示台を利用して展示し、多くの方々に見て頂きます。
<p>今回作って頂く作品は、自治会の財産として保管しておいて、今後様々なイベントなどが行われるごとに展示するようにしたいと考えています。個人で所有したいとお考えの方は、実費をご負担下されば可能です。 素焼きの風鈴、陶土等の準備と、焼成等は王地山製陶所でして頂きます。 作品を展示する際の台も、黒竹を使用して作製することになっています。</p>				

## 古市焼遺跡等の探訪が行われました

去る五日の午後、古市塾の講座のひとつとして、見内・波賀野・波賀野新田・古市・不来坂を巡り、古市焼の遺跡や歴史的景観などの探訪が行われました。

当日は、三十数名の方々が受講し、酒井勝彦さんの案内で、炎天下を熱心に見て回りました。見内、波賀野では、水車を使って焼き物の原料になる陶石を砕いて陶土を作っていた跡地や、豊島塾跡等を訪ねて説明を受けました。

波賀野新田、古市の街並みでは、街並みの成立の過程等についての説明を受けながら、現存する歴史的建造物について見て回りました。

最後の不来坂では、竹藪になってしまっている古市焼の登り窯の跡地を訪ね、現在もあちこちに散乱している焼き物の破片や、焼く際に使った台などの遺物を探しました。

今回の講座・探訪を通じて今まで何の気なしに見ていた身近の景観や建造物に、極めて高い歴史的な価値があることを理解する事が出来ました。

